

学 習 計 画

(学年 2年) (科目名 現代文A)

学 期	学習項目	学習内容・方法
1	随想『さくらさくらさくら』 評論『ミロのヴィーナス』 現代小説『ナイン』 評論『最初のペンギン』 級別漢字学習	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の桜に対する見方を読み取りどのように表現されているかを捉える ・日本人の桜への思い入れとそれに対するヨーロッパ人の感じ方の違いを読み取る。 ・現代短歌に触れ、作者独特の世界観を理解する。 ・独特な表現を的確に捉え、ミロのヴィーナスの魅力を明らかにする。 ・失われた両腕の復元案に対する筆者の思いや考えを読み取る。 ・人間存在にとっての手の意味を読み取り、失われたものが両腕でなければならない理由を理解する。 ・物語の背景となる土地柄を理解する。 ・少年野球団のその後の姿と英夫と常雄に起きた出来事について読みとる。 ・英夫が正太郎に寄せる「信頼」はどのようなものかを分析する。 ・「最初のペンギン」の具体例から、人間の有限性と結びつけて理解する。 ・特異な用法が意味するところを読み取る。 ・「創造」という主題についての筆者の見解を的確に読み取る。
2	現代小説『山椒魚』 随筆『塩一トンの読書』 近代小説『こころ』	<ul style="list-style-type: none"> ・山椒魚の置かれた状況を把握し、その悲しみや嘆きといった心情について理解を深める。 ・岩屋の中の様子と外の様子についての山椒魚の心情を読み取る。 ・小えびの侵入に伴う山椒魚の心境の変化と岩屋から脱出を試みる行動について考える。 ・絶望的な状況の中で動揺する山椒魚の心情と岩屋の外の光景から目を背けようとする心情を理解する。 ・更に一年が経過した山椒魚と蛙の様子に見られる変化と山椒魚が蛙に歩み寄りを見せ和解に向かう経過を整理する。 ・姑が「塩一トン」の言葉を言った糸を理解する。 ・古典の理解と人間の理解の共通点について考え、読書の楽しみはどこにあるのかを理解する。 ・読み手の成長と本との関係について理解する。 ・『こころ』の構成と教材の位置について解説し、また登場人物についての予備知識を持つ。 ・Kの精神生活や言動についての「私」の考察を整理し、

	<p>級別漢字学習</p>	<p>Kの「覚悟」の意味内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り手である「私」の見えるところと見えないところがあるという物語の構造を理解する。 ・Kの過去の生き方や性格について整理する。 ・私の「最後の決断」に至る心理の移り変わりを把握する。 ・私の「良心」が復活しながら、貫徹できなかった経緯を捉える。 ・Kが「結婚」の話聞いた後の様子について「私」がどう考えたかを読み取る。 ・Kの「手紙」から推察されるKの自殺の理由を推測し、その自殺を「私」はどのように受け止めたかを考える。 ・教材より後の物語の流れを紹介する。
<p>3</p>	<p>近代小説『清兵衛と瓢箪』</p> <p>級別漢字学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一段と第五段の記述が時間的には同じであり、第二段～第四段が回想的になっていることを理解する。 ・清兵衛の瓢箪への凝りようを把握し、清兵衛が独自の価値観を瓢箪に持っていることを理解する ・清兵衛と周囲の大人、特に父親との関係を読み取る。 ・見つけた瓢箪に対する清兵衛の熱中ぶりを読み取る。 ・教員の特徴を理解し、なぜここまで怒ったのか、またその報告を受けた父親がどのような怒りを持ったのかその特徴を捉える。 ・小使いと骨董屋の駆け引きを読み取り、その瓢箪がどのようにしていくらの価値を持つに至ったかを把握する。 ・末尾の一文から今後の清兵衛について想像する。